



学校だより

やまゆり



2021年2月号
令和3年1月29日
横浜市立大口台小学校
神奈川県大宮区大宮460

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/oguchidai/>

学校からの連絡のために、入学予定のご家庭にもメール配信登録をお願いしています。



伝えること、伝わること

校長 田川 齊史

寒さと乾燥が続いています。インフルエンザの流行も、新型コロナウイルスの感染も最小限に食い止めたいものです。しつこいようですが、ご家庭でも、マスク、手指の消毒、ていねいな手洗い、うがい、十分に穏やかな睡眠、偏りのない食事など、健康管理にご協力ください。検温と健康観察票の記入・提出も。

今年度は特に機会は多くありませんが、子どもたちに向けてお話をすることがあります。できるだけわかりやすくしようと心がけるのですが、伝えたいこと、思うことが山ほどあってどうしても長くなってしまいます。

毎日の授業での教員も同じ思いでしょう。伝えたい思いや内容が伝わっているのか不安です。

♪もしもしカメよ、カメさんよ♪

ウサギは足が速いのが自慢。
歩みの遅いカメをからかって、かけっこをすることになりました。
当然、ウサギはぐんぐんリードを広げ、カメの姿はすっかり見えなくなりました。
ウサギは安心してひと休み。
つい眠ってしまいました。
その脇を、カメがのろのろと追い越していきました。
ウサギがはっと目を覚ました時はもう遅く、カメがゴールしていました。



ご存知、「ウサギとカメ」のお話。どれほど高い能力や才能を持っていても、その上にあぐらをかいて怠ければ、地道に努力を積み重ねる人に追い抜かれてしまう。どんなにゆっくりでも、堅実に努力したものが最後は勝つ、いわゆる「努力に勝る天才なし」という教訓です。この話で、私達は油断大敵、気を抜いてはいけません。遅くとも一步一步しっかりと努力することなどを学んできたと思います。

ところが、この物語には、もう一つ教訓が隠れています。それは、「ウサギはカメばかり見ていた。カメはゴールだけを見ていた。」というもの。つまり、ウサギは競争相手であるカメの動向ばかりを気にしていたため、つい油断してしまい、対するカメは、ウサギを気にせずゴールだけを見て、ひたすらゴールに向かって歩き続けたことで勝利を得ました。つまり目的への意識の差が勝敗を分けたのです。ライバルや周囲のことを気にせず、ひたすら目標に向かって努力する。「一意専心」の大切さを示した教訓と言えるでしょう。

でもこの話もストーリーをちょっと変えるとまったく別の展開が…。では、もうひとつの「ウサギとカメ」。

ウサギとカメがかけっこをすることになりました。
当然、ウサギはぐんぐんリードを広げ、カメの姿はすっかり見えなくなりました。
ウサギは安心してひと休み。つい眠ってしまいました。
そこにカメがやってきました。
ウサギが眠っていたので、カメはウサギを起こしてあげました。
「ウサギさん、さあ起きて! いっしょに走ろうよ。僕一人で走ったってつまらないからね」
ウサギはカメに感謝し、残った距離をカメといっしょに走りました。
いっしょに走るのは楽しいし、それにカメはウサギのスピードに追い付こうとがんばるので、前よりずっと速く走れるようになりました。



競争において油断は大敵、というのが本来のストーリー。でも競い合うという要素に、助け合うという要素を加えると、楽しい上、自分のレベルアップにもつながる、というのがもうひとつのストーリーです。

奢らず高ぶらず、カメの声かけに感謝し、やさしく手を携えるウサギ。自分の特性を理解し、決してあきらめず前向きに生きるカメ。物語からだけではなく、あらゆる物事から「生き方」を学べると感じました。

新型コロナウイルス感染状況の悪化からオンラインの学習も話題になっていますが、横浜市立学校全体で端末機器やネットワーク環境の整備をすること、学習アプリや内容の準備を整えることに時間がかかっています。